

『令和4年度学生による授業評価結果報告』

川崎医療短期大学 FD・SD 委員会

本学では、平成21年度から学生による授業評価を組織的、継続的に実施している。授業評価の目的は、各教員が授業方法の改善点を見出すとともに、大学教育の質的向上を図ることにある。そのために、授業に関する自己点検・評価活動を継続し、FD活動を展開している。

授業評価実施科目は、履修者が5名以上のすべての科目としている。2年間で全科目を行うが、本年度は前期33科目・後期30科目をそれぞれの学期末に授業評価を受けた。調査内容は、1) 学生の自己評価(4項目)、2) 授業の基礎的な事項(4項目)、3) 学習の推進に関する事項(3項目)、4) 総合評価(2項目)の計13項目である。回答は、「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」「どちらでもない」「ややそう思う」「とてもそう思う」の5段階評価とした。学生にはWebClassでアンケートに回答してもらい、自由記述による授業への意見・要望も求めた。調査結果に基づいて、各教員は科目ごとの「教員による自己点検報告書」を提出した。

以下に全体の集計結果を示す。全体平均は前期4.5、後期4.4と高い満足度が示された。

令和元年度から実施している学生参画によるFD活動から、自己学習時間を増やす工夫や方法に関しての取り組みを継続した結果、学生の授業時間外学習の評価点は前期4.2、後期4.0と上昇した。

令和4年度 授業評価結果集計表

大項目	質問項目	前期	後期
	(対象科目数)	(33)	(30)
I 学生の自己評価	1) 私は、シラバスの内容（到達目標、授業内容、評価方法）を理解している。	4.5	4.4
	2) 私は、この授業中、マナー（携帯電話、私語、いねむり、遅刻、早退をしない）を守った。	4.6	4.6
	3) 私は、授業に意欲的に取り組んだ。	4.6	4.5
	4) 私は、授業外学習（予習、復習を含む）をした。	4.2	4.0
II 授業の基礎的な事項	5) この授業は、テーマや到達目標、内容、評価方法等を予め明確に示された。	4.6	4.4
	6) この授業は、シラバス（到達目標、授業内容）に基づいて行われた。	4.7	4.5
	7) この授業は、時間割に沿って行われた（休講、変更をあまりしない）。	4.7	4.6
	8) この授業は、学生が授業に集中できる環境を整える努力をしていた。	4.5	4.4
III 学習の推進に関する事項	9) この授業は、学生が興味を持てるよう授業内容や方法を工夫されていた。	4.5	4.4
	10) この授業は、板書や配付資料、視聴覚機器等の教育器材の使用によって理解が深まった。	4.5	4.4
	11) この授業は、適切な進度で行われた。	4.5	4.5
IV 総合評価	12) 私は、シラバスで求められた到達目標をほぼ達成できた。	4.3	4.3
	13) 私は、総合的にこの授業に満足している。	4.5	4.5